

議会だより



地域の自然・風蓮湖の学習に、いざ出発！（別海小学校の子どもたち）

主な内容

町長の行政報告（酪農畜産政策 他）	2
議案の審議と結果（補正予算・条例 他）	3～4
議会のみめ知識（特別多数議決）	4
平成20年度諸会計予算審議	5～7
一般質問 6議員	8～16
広域連合（廃棄物処理）・一部事務組合（葬斎・消防）議会報告	17
4月の暴風雪被害	17
シリーズ ●輝け！学校「別海小学校」	18

3月 定例議会

平成20年第1回定例議会が3月10日から14日までの日程で開かれました。町長の行政報告を要約して掲載します。



飼料・燃料代高騰で酪農経営は極めて厳しい

町長の 行政報告

酪農畜産政策について

国際的な穀物の需給の逼迫、輸送費、原油価格の高騰を受けて、酪農家の経営は大変厳しい状況になっています。

これを踏まえ、酪農畜産政策・価格要求運動が展開されました。

当町としても独自の運動を十二月三日に実施。

また、北海道酪農振興町村会による緊急要請も行いました。その結果は、別表のとおりです。

来年度乳価はホクレンの受託乳価と合わせて六円程度上乗せすることができると思われ、一息ついた感じがします。

さらに、今回の緊急対策では対応できなかった配合飼料価格安定制度の見直し、自給飼料強化の抜本的対策等については、五月末までにプロジェクトチームで議論をし、政策を出すことにしています。

■加工原料乳生産者補給金

	20年度	19年度
補給金単価	11.55円/kg	10.55円/kg
限度数量	195万トﾝ (外枠対策12万トﾝ)	198万トﾝ

中標津－千歳便の休止について

昨年十二月、全日空釧路支店長から中標津空港利用促進期成会長の西澤中標津町長に、丘珠便を一旦減便したいとの連絡がありました。

それを受けて、管内一市四町の首長が協議し、現状維持を全日空本社に要請しました。

ところが、本年一月、全日空から西澤町長に搭乗率六四％以上の丘珠便は現状の三便とし、搭乗率三〇％以下の千歳便を休止する旨の通告がありました。

このことは、本州



千歳便が休止となった中標津空港

国保税の賦課もれについて

現在の国民健康保険税の賦課は、所得割、資産割、世帯ごとの平等割、人数ごとの均等割の四方式で算出していますが、このたび、資産割の共有名義の資産按分を賦課していない町村があるとの

報道がありました。当町も調査を実施したところ、土地や建物の共有部分について、資産割に参入されていない事実が判明しました。国保加入者の皆様に深くお詫びを申し上げます。

現在、確認作業を進めています。確定次第、二十年度国保税第一期分納期までに賦課したいと考えています。

現在該当するのは、百五十三世帯、五十九万円となっています。

今後は、平等性を欠くことなく、適正な事務処理を進めていきます。

議案の審議と結果

3月に行われた定例議会で審議・決定された補正予算や条例改正は次のとおりです。

**条例を制定
しました**

◆**町立別海病院特別対策基金条例**

病院の施設・設備整備のための企業債償還・補助金等の返還に要する費用財源にあてるため基金条例を制定しました。

◆**災害遺児援護給付条例**

旧交付金条例を全面的に見直して、重度障害者の援護金を廃止し、災害遺児だけの給付としました。

**条例を廃止
しました**

◆**保健委員設置条例**

ヘルスコンダクター育成も視野に入れながら、保健委員の解散に伴い条例を廃止しました。

**条例を一部
改めました**

◆**議会議員・職員等の旅費に関する条例**

行政改革の観点から、旅費の全面的見直しを行い、グリーン料金の廃止など旅費・費用弁償を削減する改正をしました。

限り、一枚五百円を徴収しないことにしました。

◆**国民健康保険税条例**

国民健康保険税の納期を四期から八期（七月～二月までの各月）に改めました。

**委員の選任に
同意しました**

■**根室支庁管内町村公平委員**

任期満了による現委員の根塚亨氏の退任に伴い、後任として池田一昭氏（中標津町在住）の選任に同意しました。

◆**後期高齢者医療条例**

後期高齢者医療制度に関連して市町村で行う事務・その他必要事項を定めました。



平成23年度新病院が開設される予定の町立別海病院

平成19年度補正予算

補正額

予算総額

◇一般会計（5回目の補正）	1億7,010万円 減	143億8,300万円
◇国民健康保険特別会計（2回目の補正）	1,600万円 増	24億8,600万円
◇下水道事業特別会計（2回目の補正）	4,290万円 増	7億7,480万円
◇介護保険特別会計（2回目の補正）	5,356万円 減	8億6,878万円
◇病院事業会計（2回目の補正）	4,172万円 減	19億4,210万円
◇水道事業会計（2回目の補正）	7,726万円 減	8億5,682万円

一般会計の主な補正

・病院特別対策基金積立金	5,000万円を計上
・各会計繰出金	1,310万円を増額
・根室北部廃棄物処理広域連合負担金	1,695万円を減額
・除雪機械購入事業	1,856万円を減額

水道事業会計の主な補正

・満期量水器取替事業ほか	2,354万円を減額
--------------	------------

◆**手数料条例**

住民基本台帳カード交付に関し、平成二十年四月一日から平成二十三年三月三十一日までの間に

※ このほか、介護保険法改正によるもの、町総合計画策定審議会に関わるものなど九件の条例を改めました。



池田 一昭さん

町道の路線認定および廃止をしました

十四路線（四〇九六・五八〇）を認定し、十路線（二二八八一・一一一〇）を廃止しました。

工事請負契約の一部を変更しました

昨年十二月定例議会で議決された西春別中西別線改良舗装工事の契約金額を九十二万四千円減額して、六千百三十四万円に変更しました。

国・道に要望書を提出しました

◆森林環境税(仮称)の導入を求める要望意見書

提出者 産業常任委員会
委員長 戸田 憲悦 議員

二酸化炭素の吸収、水源の慣用、国土・生態系



工事前の道路(上)と工後に認定された町道(下)

◆品目横断的経営安定対策についての意見書

提出者 産業常任委員会
委員長 戸田 憲悦 議員

農業の構造改革が加速する中、経営安定対策の見直しと担い手の経営安定強化を求める意見書が提出され、全員の賛成で

の保全など、公益的機能を維持増進し、次世代へ豊かな森林を引き継ぐため、みんなで森林を支えるよう、実行体制の確保と新税創設・予算化を求める意見書が提出され、賛成多数で可決されました。

◆割賦販売法の改正を求める意見書

提出者 産業常任委員会
委員長 戸田 憲悦 議員

訪問販売など契約書型クレジット(割賦販売)を使った悪質商法が深刻な問題となっていることから、消費者が安心して利用できるクレジット制度にするよう改正を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆季節労働者対策の強化を求める要望意見書

提出者 産業常任委員会
委員長 戸田 憲悦 議員

季節労働者は、かつてない厳しい状況の中にあることから、通年雇用化や地方の生活密着型公共事業の拡大・財源確保を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆先住民族の権利に関する国際連合宣言に関する意見書

提出者 総務建設常任委員会
委員長 池田 幸雄 議員

文化の振興と伝統への理解について、いまだ課題が山積している状況であることから、先住民族の位置づけや宣言に盛り込まれた権利を審議する機関の設置を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

●●● 議会のまめ知識 ●●●

特別多数議決

議会の議事は、出席議員の過半数で決するのが原則ですが、法律の定めがある場合、賛成議員の割合が加重されます。

- 《三分の二以上》
- ①役場の位置を定める条例
- ②議員の資格決定 など
- 《四分の三以上》
- ①議員の除名処分
- ②不信任議決 など
- 《五分の四以上》
- ①議会の解散の議決

これらは、重要案件のため、慎重な意思決定が必要になります。

平成20年度 予算

一般会計予算は
対前年比実質6.1%増

各会計予算総額	238億1,341万円
一般会計	155億9,200万円
特別会計	54億9,330万円
企業会計	27億2,812万円

特別会計予算

国民健康保険	22億8,500万円
老人保健	1億3,290万円
後期高齢者医療	1億4,070万円
介護サービス事業	8億6,720万円
介護保険	8億9,770万円
下水道事業	11億6,980万円

企業会計予算

病院事業	18億6,427万円
水道事業	8億6,385万円

一般会計に対する反対・賛成意見

反対意見 (瀧川榮子議員)

不要不急の予算削減、第三セクターの見直し、入札制度の改善に着手した点は評価できますが、①町全体で総額一千億円以上の事業になる国営かん排事業の効果が疑問で、問題点が多い。②広域連合廃棄物処理場に関して、平成二十一年度でメーカーの補償期限が切れ町民負担が増えることが予想されるが、対策があいまいである。③福祉入浴券の半額、重度心身障害者の援護策を打ち切るなど福祉の後退となっていることから、予算案に反対します。

賛成意見 (佐藤初雄議員)

厳しい経済状況を反映して町民税が落ち込む中、地方交付税の増額はあるものの、行財政改革の推進、人件費や行政経費の削減に努め、公債費の減額などにより財源を捻出し、防災基盤や町民の福祉・生活の整備、産業振興など重要な施策がおおむね盛り込まれた予算です。

地方交付税の不透明な部分もあり、今後も一般財源の増加は望めない中、引き続き「行政改革」と「健全な財政運営」に期待し、本予算案に賛成します。

主な事業

- 町民テニスコート整備事業 (全天候型2面) 6,033万円
- 知的障がい者更生施設整備事業 6,550万円
- 児童デイサービスセンター整備事業 (地域子育て支援センター設置事業含む) 2,822万円
- 地域総合整備資金貸付事業 1億7,000万円
- 中山間地域等直接支払交付金事業 8億6,661万円
- 環境保全型かんがい排水事業 8億2,123万円
- 矢白別演習場周辺農業用施設設置助成事業 (農業用機械購入・TMRセンター建設) 6億6,641万円
- 水産物産地市場衛生管理高度化施設整備事業 (道営・尾岱沼漁港) 5,610万円
- 漁港改修事業(道営・別海漁港) 3,533万円
- 強い水産業づくり交付金事業 (漁業生産基盤整備) 2億2,994万円
- 防衛施設周辺道路整備事業 (西春別中西別線改良舗装) 7,610万円
- 防衛施設周辺障害防止事業 (矢白別演習場土砂流出対策) 3,100万円
- 災害時避難施設建設事業 (床丹避難所本体建設・本別海避難所実施計画及び地耐力調査) 7,772万円
- パイロットマラソン大会事業 (第30回パイロットマラソン大会・第23回健康マラソン大会) 1,000万円
- 各学校建物耐震改修等事業 6,390万円
- 特定環境保全公共下水道事業 8,570万円
- 病院事業関連事業 (医療器機器整備・病院建設外構工事及び実施設計) 4,048万円



別海町全体で1000億円の事業となる環境保全型かん排事業

議会で徹底審議

平成20年度の一般会計ほか7件の各会計予算は、全議員による予算審査特別委員会(池田幸雄委員長)を設置して、3月12・13日の2日間にわたって審査が行われました。委員会で行われた質疑内容の主なものを要約して掲載します。

▼町長車の廃止

町長車と副町長車を廃止しますが、不測の事態を考え、自ら運転することは控えるべきと考えます。

町長

事故等には十分気を付けます。他の町長も運転している方向になってきています。

▼監査委員費

これからは法整備を含め、監査の充実が必要になってきますので監査委員費を増額しては。

町長

今後の体制をどのようにつくるか検討します。

▼福祉灯油の条例化

今回当町でも福祉灯油を実施しましたが、条例化すべきでは。

町長

今後どのような対応が必要なのか、総合的に判断して、条例化についても検討します。

▼重度心身障害の援護交付金

重度心身障害者援護交付金が廃止されましたが、代わりの措置を講じますか。

副町長

障がい者の家族との会議で、家族の要望は社会の中に出て行くことを支援してほしいとのことでした。特に反対意見はありませんでしたので、廃止しました。

▼ケアハウスみどり野の利用率

利用者が低下していますが、維持管理費を平成二十年度まかなえますか。

福祉特命課長

外部サービスの利用や入所基準を拡大させ入所を増やしていきます。

▼児童デイサービスセンター

児童デイサービスセンターを開設する計画ですが、児童館との違いは。

福祉部長

児童デイサービスセンターは障がい者等への指導相談の場所、児童館は放課後父母や子どもたちが集まり交流する場です。

▼妊婦検診

何人の妊婦検診を予定していますか。また、町外の受診の対応はどのようにしますか。

保険課長

対象人員は百九十人の予定です。道内は対象になりますが、道外は対象外です。

▼じん芥処理費

広域化をして三倍以上の費用になった理由と、平成二十二年度からメーカーの補償がなくなりませんが、その後の維持補修費の町財政、町民負担の見通しは。

福祉部長

根室北部広域連合への負担金が原因です。

今後の負担費用については、四町で協議しながら決めます。

▼乳業興社

あと二年で累積債務もなくなる中で、今なぜ第三者の経営診断が必要なのですか。

農政課長

町としてどこまで支援できるか見直し、再構築する必要があると判断しました。

▼国営かん排事業

この事業が本来に農家のためになる農業技術か

どうか。償還の今後の財政見通しは。農家の要望・意見が通じないという声がありますが町の姿勢は。

環境特別推進室長

化学肥料の減と、牧草収量の増、さらに川の水質が改善されました。起債措置をしますが、償還については、一括償還、繰上げ償還することで交付税に反映されま

す。農家とはさらに密接な関係を持って事業を進めていきます。



平成21年度にメーカーの補償期間が切れるごみ処理施設

水沼町長 初の本格予算



魚道の機能効果の検証が始まる演習場内砂防ダム

▼公衆トイレ

観光地である白鳥台の公衆トイレが悪臭で耐えられませんが、改修できませんか。

▼産業振興部長

白鳥台に「道の駅」構想があって、今実施すると二重投資となるので、第六次計画の中で検討していきます。

▼砂防ダム調査

調査の内容は。また、漁業者の方々の意見聴取を考えていますか。

建設水道部長

未整備流域の四流域の荒廃状況、土砂流出状況の調査と、魚道の機能効果の検証を三力所のダムで調査します。

町は地元漁業関係者と防衛省との調整を図る役割をしていきます。

▼既存住宅耐震改修費補助金

どのような住宅が対象になりますか。耐震改修の進め方について住民の周知はどうしますか。

総務部長

PRは一度してありますが、本年度予算で全戸に宣伝していきます。

▼地域防災計画

住民参加訓練のときの事故に対する体制は確立されていますか。

総務部長

自主防災組織で加入するよう伝え

ていますが、今後十分検討します。

▼学校給食費

輸入食品の食害が出ました。各自自治体で給食費の値上げをしていますが当町も値上げしますか。

学校給食センター長

今は値上げしません。なるべく輸入物は使わず、地元産、道産、国産を使っています。

▼障がい者の税控除

当町は税控除対象者として、障害者控除対象者認定証を交付していますか。

福祉特命課長

当町も、平成十六年から障がい者控除の対象者については、身体障害者手帳を持っていれば認定しています。

▼税金の滞納

税金の滞納があります。税滞納整理機構に加入する考えはありますか。

総務部長

平成二十一年度からこの機構に加入したいと考えています。

▼予算書

町の予算書を分かりやすくしてほしいと思います。連結した町債の残高と、将来見通し残高を示すことはできませんか。

財政課長

予算書は自治省令に基づいて作っています。システムの関係もあって一気に変えられませんが検討中です。

▼し尿処理場

し尿処理場が、老朽化しています。今後、多額の費用がかかると思われるのでその対策は。

副町長

ランニングコストと建

設費などを含めてどんな方法がいいか、いろいろな方面から対策を検討していきます。

▼物品購入

工事請負だけでなく、物品購入や委託についても競争性を持たせる必要があります。

総務部長

地元優先と考えていますが、同じものがある場合は、必ず二社以上の見積もり合わせをします。

▼ボランティア保険

社協に登録しないでボランティアに参加している人がいます。全町民に保険をかけられませんか。

町長

社協とも相談して、保険料について支援できないか検討します。

一般質問

町政の ここが聞きたい

3月定例議会では第2日目(3月11日)に6議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■西原 浩 議員

- 1 病院基本計画は町長の公約と違うのでは………8
- 2 別海高校のコミュニティ・スクール推進対策は………9
- 3 高速無線LANの不通地域の対策を………9

■中村忠士 議員

- 1 「沖縄の負担軽減」は米軍訓練拡大の口実………10
- 2 教員評価制度で教員は「上」を見るようになる………10
- 3 町には所得200万円以下の方が7,651人います………11

■戸田博義 議員

- 1 野付半島先端の道路整備を早急に………12

■丹羽勝夫 議員

- 1 補助金をいつまで続けますか………13
- 2 町長は個人保証していますか………13

■佐藤初雄 議員

- 1 病院建設に町民の意見は反映されたのですか………14
- 2 一芸人材のボランティア活用で学校支援強化を………14
- 3 洞爺湖サミットで別海町をアピールしよう………15

■瀧川榮子 議員

- 1 学校給食に地産地消の野菜を………15
- 2 役場庁舎内・公共施設での禁煙を早急に………16
- 3 ジェネリック医薬品使用の検討を新たにしますか………16

病院基本計画は 町長の公約と違うのでは

町長 別海町にふさわしい病院を
建設することが私の公約です

西原 浩 議員

質問

新別海病院基本計画が発表されました。

町長は昨年の選挙において、基本構想は過大、診療科目を減らし、ベッド数も削減すると公言し、基本構想の見直しを公約に掲げてきました。また、当選後の新聞インタビューでも同様に答えています。公約に反し、病院の規模を基本構想どおりにした理由と、町民の皆さんにどの様に説明するのかがあります。

水沼町長

町民の意見や関係機関との協議、更には医療関係者などとの協議を経て、別海町にふさわしい病院を建設することが私の公

約です。

新聞記者に答える形で

病院建設に関する記事が掲載されましたが、私の公約は新聞記事ではなく立候補時のパンフレットです。

また、町民の皆様には、本答弁をもって説明とさせていただきます。

質問

新聞記事は間違いであるという答弁は予想外です。私の考える組織のリーダーは判断力とメッセージ性だと考えます。

今、新しい病院を創ろうという段階で新しい理念が反映されるのか疑問に感じます。

昨年六月定例議会では松原議員の質問に病床数、診療科目について、財政も含めて見直す答弁し

ていますが、相違があるのでは。

水沼町長

六月の段階以降、国の地方自治体病院の再編や道の方針などさまざまな動きがありました。そのときそのときでいろいろな判断をしていかなければと考えています。

実施設計発注に当たっては、基本計画が必要と考えて、コンサルト業者に専門家の視点から現状分析も含めて調査を委託してできあがった基本計画です。

最も大事なことは、町民の皆さんの命、そして健康を守ることだと思っていますので、今後も町民の皆様にご理解をいただけるように努力していきます。

別海高校のコミュニティ・スクール推進対策は

教育長 魅力ある学校づくりを 支援してまいります

西原 浩議員

質問

別海高校がコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）のモデル校に選ばれましたが、当町の教育環境の向上にどのような効果があると考えていますか。

山口教育長

地域の声が迅速かつ的確に学校運営に生かされ、地域の方々と教職員が一体となって信頼され



部活動は友情とチャレンジ精神を育てる（別海高校）

る学校づくりができることと、創意工夫を生かした特色ある学校づくりが進むことで、地域全体の活性化が期待できます。

質問

少子化で生徒数が減少しています。学力の向上、レベルの高い部活動など魅力ある学校づくりが必要と考えます。

山口教育長

例えば、スケートの得意な先生を呼んできて、スポーツを伸ばすなど、進学・進路指導にも重点をおきたいと考えています。

高速無線LANの不通地域の対策を

総務部長 無線強度の弱いエリアを補強してまいります

飯島総務部長

部活バスは当町独自の取組みで、現在三路線運行していますが、当面の

西原 浩議員

質問

平成十八年事業で高速無線LANを構築しました。無線ネットワークは、二十か所の基地局から構成されています。現在申し込み件数百四十八件、設置済み件数百九件となっています。

対象世帯千九十六世帯のうち二百三十三世帯で通信できない状態になっています。無線空間の通信密度に格差が出ています。局地的に無線強度の弱いエリアの今後の対応策についてはいかがでしょうか。

飯島総務部長

昨年九月に全世帯での簡易通信調査を実施しました。通信事業者と総合的な計画を立てて無線強度の

間は現在の運行を継続してまいります。生活バスは現在四路線運行しています。町内の高校に通う助成

制度は継続してまいります。町外の高校に通う助成制度は平成二十一年度に廃止の予定です。

質問

アンテナ設置の個人負担に大きな差があるので早く解決してほしいという意見があります。また、近隣自治体との今後の連携についてはいかがでしょうか。

飯島総務部長

周辺自治体にも積極的に無線通信の導入に向けて働きかけを行ってまいります。また、極力複数の方向から電波を受信できるように機器を設置し、格差が生じないようにしてまいります。

「沖縄の負担軽減」は米軍訓練拡大の口実

町長 沖縄の負担は軽くなっています

水沼町長 化の単なる口実でしかなかったことは明白です。

機関に強く要請していきたいと思います。

ていくべきです。

あります。

水沼町長

遺憾なことだと思っています。このことについても、関係機関に要請をしていきます。

謝罪は訓練部隊も行うこと。謝罪文を町民に公開すること。この二点を十二月議会で求めましたが、これについてどのようになりまししたか。

中村忠士議員

質問

沖縄での米兵の検挙数は、平成十六年以降、七十二件、六十五件、六十三件と、絶え間なく犯罪が起こっています。

海兵隊の射撃訓練が五か所に分散移転した理由は沖縄の負担軽減でしたが、一向に軽減されていません。負担軽減は、米軍訓練の全国的拡大・強

水沼町長

今、発生している米軍のいろいろな犯罪・事件に関しては、まことに遺憾なことですし、憤りを禁じ得ません。しかし、沖縄の負担は軽くなっていると思っています。

質問

昨年の海兵隊射撃訓練で、米軍の行動について町民にほとんど知らされないまま進展しました。米軍に情報開示を求め

質問

自衛隊もイージス艦による衝突事故を引き起こしています。昨年の自衛隊による町道封鎖も看過できない問題です。自衛隊による謝罪などありませんが、残された問題も

飯島総務部長

駐屯地並びに訓練実施部隊の責任者が町に経過説明及び謝罪するよう駐屯地に申し入れています。また、町民の皆様は謝罪内容を速やかにお知らせすることとしました。



米軍訓練が移転して沖縄の負担は軽減したか？

質問

〇七年の米海兵隊一五五ミリ榴弾砲射撃訓練は、全国四か所で分散実施されるはずでしたが、矢別のみの実施となり、矢別への集中化・固定化がいよいよ現実のものになってきています。

水沼町長

これからも矢別演習場の米軍使用が恒常化することがないよう、関係

教員評価制度で教員は「上」を見るようになる

教育長 正しく評価できるものにします

中村忠士議員

質問

道教委は、昨年九月に市町村立の学校の教員評価制度施行のための要領を決定し、各教育局、地教委に通知文書を出しま

した。

これは、上が下を評価する(教委→校長、校長→教頭、教頭→教諭)というものです。上が評価する場合に教員は上を見るようになりましした。この評価制度に関連し

て、教員の査定昇給制度や免許更新制度の導入も打ち出されています。免許更新制は校長、教頭、指導主事は該当しない。また、道教委が定めた者も免除されることになっています。

町には所得200万円以下の方が7,651人います

町長 産業振興・就労安定化に努めます

質問

別海町では、所得百万円以下の人が五千五百五十人、二百万円以下となると七千六百五十一人になるとのことです。町長はどう思われますか。

水沼町長

所得の低い方が多数おられるという実感があります。今後、産業の振興、就労の安定化に一生懸命努力します。

質問

季節労働者を含め、雇用対策をどのように考えていますか。

秋森産業振興部長

雇用の創出の場となっている中小企業の一層の振興を図るため、関係者団体の皆さんと連携して努力します。合わせて、起業あるいは創業などを支援する考えです。

また、雇用効果の高い公共事業で、地元中小企業の受注機会を確保することも大切なことと思っています。

中村忠士議員
質問

町民の失業率・非正規雇用・無年金・低所得の状況をおたずねします。

秋森産業振興部長

失業率・パート労働は把握していません。無年金者は五十四人。低所得世帯(住民税非課税)は、千百二十五世帯です。

評価制度も、その評価に応じて給料を変えたいというものも、免許の更新も、全部、教員が上の方を向かざるを得ない仕組みになっていると思えますが、教育長はどのように考えますか。

山口教育長

教師は子どもに学び、子どもは教師に学び、お互いに学び合って良い教員になっていく、その横には保護者がいて、保護者もまた応援してくれる、それが一番信頼される評価の方法だと思えますし、できるだけそういう方向に近づけたいと考えています。

教員の査定昇給制度、あるいは免許更新制度、これもすべて上からおりてきた制度であり、私たちは、それについては粛々と従わざるを得ませんけれども、問題点をきちっと把握して、できるだけ子どもや保護者がきちつとその先生を正しく評価できるようなものにしたいたいと思います。



希望いっぱいの新一年生 健やかに育てほしい

上の方ばかり見るような、平目教員といえますか、そういう教員はつくらないように、決してつからせないように、私の方はずっかり目を開いていきたいと思えます。

質問

平成二十年度の別海中央小・上西春別小の新一年学級は、三十五人から四十人のすし詰め学級になる可能性があります。三十人学級実現のために、国・道に強力に働きかけていくべきです。また、国・道の政策が

変わらない段階では、独自の措置として教員を配置して少人数学級を実現する手だてはとれませんか。

山口教育長

道教育委員会連合会では、第一の目標を三十、三十五人学級の実現ということで進めています。残念ながら実現していませんが、別海中央と上西春別小は二名、別海中央と上西春別中は一名の教員加配(定数より多く配置すること)がつい先日決定しました。

野付半島先端の道路整備を早急に

町長 第六次総合計画で

検討してまいります

戸田博義議員

質問

野付半島は大正十三年に地籍調査した図面はありますが、長い年月により侵食が進み、国有地、民有地の区別がつかなくなっていました。

大蔵省は町と漁協と協議の上、昭和五十年から三年間で地籍調査を行い、半島全体の新しい図面が完成し、町道の用地も明確なものとなりましたが、現在灯台近くまでは道々になったものの、先端部は通称漁業者道路と呼ばれる道のままです。先端部は年中さけ定置漁業の支度、カレイ・コマイ漁も行われていますが、道路ができなかった理由をうかがいます。

川原建設水道部長

昭和六十三年に野付風連公園線利用計画の変更を策定しましたが、北海道自然環境保全審議会の意見により灯台四〇〇付近手前までとなりました。

質問

野付半島先端部は、地震、低気圧が来るたびに災害が心配され、漁業者道路の現地確認を行うべきです。

また、野付半島を守るためのヘッドランド工法による工事が進められてきましたが、当町としては先端部をどの様に認識していますか。

川原建設水道部長

先端部は現在漁業活動の重要な場となっており、漁業基盤施設としての道路の位置づけなどの

質問

道立自然公園として、地域全体で守っていかねければなりません。先端部の生活道路整備との関連はどうですか。

秋森産業振興部長

野付半島は当町にとっても大切な財産です。多くの貴重な動植物が確認されています。

道路については昔から代々営々として漁業活動のために利用してきたもので、地域の産業にとつてたいへん重要であり、環境保全に配慮した中で計画的に整備することが必要です。

質問

ラムサール条約の中でも、漁業者の生産活動にも支障はきたさないと明記されています。

平成二十一年度から始まる第六次総合計画の中で自

然にやさしい道路整備を進めるべきです。

水沼町長

現在の道々野付風連公園線終点部から先端の二十一号池田水産地先までの漁業者道路の整備は、自然保護の見地また、漁業活動、そして災害から、現状のままで放置することはできません。

自然保護に努め、第六次総合計画では道路整備については、関係者の皆さんの意見を聞き、整備に努力してまいります。



整備方針の確立が急がれる野付半島先端の道路

補助金をいつまで続けますか

産業振興部長 二十年度中に結論を

丹羽勝夫議員

質問

べつかい振興公社・郊楽苑に、営業開始から十六年間で八億七千七百六十三万円の補助金が出されていたそうです。補助金をいつまで続けるのですか。

秋森産業振興部長

平成十八年度、水中ポンプの分解、修理で四百五十六万円かかりました。業者は指名競争入札で決めていると思います。

秋森産業振興部長

平成二十年度中に専門家や株主など関係者の意見を聞き、今後の運営について結論を出します。

質問

平成十四年から、赤字が補助金で補てんされています。二年前で累積赤字が三千万円と聞いています。

秋森産業振興部長

平成十六年度末の累積未処理損が三千二百万円となりましたが、平成十七年度からは、委託料を五千五百万円に抑え、利用促進やパート化による人件費削減などで、当期利益が千百三十二万円、

町長は個人保証していますか

町長 専務と二人で保証しています

丹羽勝夫議員

質問

酪農工場の五千万円の借入れに対し、前町長と専務が個人保証をしています。水沼町長は継続して保証人になったのですか。

また、町長は、「町長が第三セクターの社長になるのは好ましくない」と言っていましたか。

水沼町長

債務保証については、私と専務が個人保証をしています。

十八年度の利益が千六十二万円です、十八年度末処理損は九百八

万円になりました。

平成二十一年度までに

質問

経営診断を専門機関に

依頼したと聞いていますが、結果は？

秋森産業振興部長

多岐にわたったの調査を終了しましたが、大変厳しい内容の評価となっています。

社長の就任については、債務が解消されるまで社長として責務を果たす必要があると判断しました。

質問

酪農工場の資料によると、将来構想の中で、「町が酪農工場に対して基本構想を出してほしい。議論する時期に来ている」と書かれています。工場と町の議論がなされていないのでは。

秋森産業振興部長

今後の工場のあり方は基本的には町が判断しま

すが、現場の声を聞きながら、将来のあるべき姿を決めていきたいと考えています。

質問

「自社資金の許す範囲で新規設備の導入を図る」と言い切っています。慎重に対処すべきです。

秋森産業振興部長

設備投資は町との協議が必要です。金額については工場の運営上支障がないと判断したものにっいて認めています。



厳しい経営診断結果が出た郊楽苑

質問

補助金以外に約四千六百万円出されています。たとえば、ポンプの交換で三年ごとに三百から五百万円支出しています。民間なら、七、八年で百万円程度しか

病院建設に町民の意見は反映されたのですか

病院事務長 基本計画策定に反映しています

佐藤初雄議員

質問

安心できる医療サービスの提供と、信頼され愛される病院づくりのためには、医師・医療スタッフなど現場の理解を得ることが必要です。また、経営の効率化、収支の改善も考慮しなければなりません。国の医療制度改革大綱との関連はどうなっていますか。

半田病院事務長

広域化・連携強化を図り、町民の健康維持と質の高い入院医療を提供します。

質問

道の根室圏構想との関係は。

半田病院事務長

中標津は中核、別海はサブ中核病院です。病院、診療所間で連携を強化し、地域医療充実を図っていきます

質問

将来の人口と患者数推計はどうなりますか。

半田病院事務長

別表のとおりです。

質問

地域懇談会の意見・要望がどのように反映されましたか。

半田病院事務長

委託業者に伝え基本計画策定に反映しています。

また、病院長にも医師の招聘活動に精力的にあたっていたいただいています。

です。

質問

当初の基本構想に対する公約との相違、整合性はどうかしていますか。

水沼町長

当町にふさわしい病院

一芸人材のボランティア活用で学校支援強化を

町長 体験学習に重点を置いていきます

佐藤初雄議員

道教育委員会は、文科省の学校支援地域本部事業の本部を設置しました。当町は各分野で特殊な技能技術を持った方が大勢います。

教育委員会としての本事業の取組みをうかがいます。

山口教育長

当町では平成十四年度から学校授業の外部講師としてリストを作成し、十九年度現在四十八人登録、十八年度までのべ五十九件利用しています。

町職員が講師となる「生涯学習出前講座ふれあいトーク宅急便」で十六件の利用があります。

た。

今後は、社会教育の持つ「なすこと」によって学び」といった体験学習の面に重点を置いて、成人学習者を生かした学校教育との連携に努め、地域が子どもを育てる視点に立ち、地域の教育力の活用向上に努めます。

■将来の人口と患者数（推計） (単位：人)

項目	年度	H17年度	H22年度	H32年度	H42年度
総人口		16,460	15,512	13,433	11,423
65歳以上		3,141	3,278	3,896	3,918
入院患者		26,358	26,687	27,438	25,372
外来診療所		18,508	18,306	18,008	16,491
患者本院		57,645	53,442	52,567	48,140

洞爺湖サミットで 別海町をアピールしよう

町長 環境フォーラムなどでPRします

佐藤初雄議員

質問

今年七月に洞爺湖サミットが開催されることになっています。

全国・世界へ当町の名をアピールする機会と考えますが、いかがですか。

水沼町長

特に根室管内は、北方領土の問題を抱えてお



全国に発信していきたい別海町の特産物

り、ロシア大統領・外務大臣を含めて根室に来ていただくよう外務省に相談しましたが、無理といわれた経緯があります。

しかし、今年中標津町

で環境フォーラムや全道の植樹祭がありますので、できる限り当町のPRなどもしていきます。

質問

サミット会場で当町の特産品や、観光土産品などをアピールする考えはありますか。

秋森産業振興部長

一月に道からサミット向けに市町村一押し食材の調査がありました。提出できる食材は、化石燃料への依存軽減・環境負荷への配慮をして生産されたもので、農水産の素材で加工品は調査

対象外のことでしたので、提供について断念しました。

学校給食に 地産地消の野菜を

給食センター長 商品価値があれば使用したい

瀧川榮子議員

質問

去年は食品偽装が多く安全・安心な食品への関心が深まりました。

地域の子どもに、安全で安心な食材を提供するという観点から、野菜の地産地消について検討されていますか。

山口教育長

当町では野菜を作る専業農家がなく使用の申し出もありません。野菜を作っている方を把握しておらず、現在地元産野菜は使用はしていません。

質問

学校給食のお便り「らんちたいむ」に「野菜一〇kgでもいいです。一声かけてみてください」とありました。地産地消を広げたいのだと受け取ったのですが、給食センターだけの思いですか。

溝口給食センター長

一〇kg・二〇kgとまとまって、ある程度商品価

値があれば使用したいと考えています。

質問

当町は、合計特殊出生率(注)が全道第二位と、子どもを育てるのに良い環境です。

美味しい野菜もアピールできる町づくりをぜひ検討に加えていただきたいと思います。

野菜を作っている方はたくさんいます。「寿大学」などが集まるところで声をかけられませんか。

水沼町長

子どもたちに、安全・安心な食事をというのは皆の願いです。

気候条件から野菜作りは難しい地域とありますが、いろいろな方に挑戦していただくことも大切です。

皆さんの意見を聞き検討していきます。

(注)合計特殊出生率

十五才から五〇才までの女性が産む子供の数。当町は一・八一人です。

役場庁舎内・ 公共施設での禁煙を早急に

町長 なるべく早い時期に禁煙します

瀧川榮子議員

質問

国は平成十六年、世界保健機関（WHO）のたばこ規制条約を批准しました。

当町では役場庁舎・公共施設での喫煙についてのどのような対策を考えていますか。

飯島総務部長
今年三月には一階ロビー



2010年までには完全撤去される庁舎内喫煙場所

と四階北側の喫煙場所を撤去しました。

WHO加入国は二〇一〇年二月までに公共の場所・交通機関などで完全に禁煙することになっていきます。

質問

町長が一言「全面禁煙はいつから」とすれば済むのではないかと思いますがいかがですか。

後の二月ですが、なるべく早い時期に皆さんに周知し、公共施設内の禁煙をしていきます。

質問

完全禁煙がまだであれば、完全分煙の場を作っていたいただきたいと思えます。

飯島総務部長

完全分煙・たばこ販売機など含めて検討します。

ジエネリック医薬品使用の 検討を新たにしますか

病院事務長 使用を広げてきましたが

これから何が良いか検討します

瀧川榮子議員

質問

厚生労働省は、ジエネリック医薬品を来年度から基本的に使用することになりました。別海病院でもジエネリック医薬品について新たに検討する予定がありますか。

半田病院事務長

日本医師会の後発医薬品調査結果では、医療機関の三五％が後発医薬品

す。

禁煙を勧めるためにも役場庁舎内のたばこ販売をやめることが必要ではありませんか。

の使用中止経験がありません。後発医薬品への信頼性や効き目に対する医師の不安は払拭されていませんが、四月からの診療報酬改定に向け、院内で協議する予定です。

かるということは、安心して自分の薬を手に入れることができるということもサービスの一つになると思えますが、いかがですか。

半田病院事務長

今までもジエネリック医薬品については使用を広げてきました。これからも入ってくる情報を踏まえ、何が町民の皆様の良いのかを併せて考え、検討をしていきます。

質問

別海病院の基本理念に「安心して暮し続けるために、継続した医療サービスを提供します」とあります。

継続して医療機関にか

広域連合・一部事務組合議会報告

2月25日、廃棄物処理広域連合と葬斎組合、29日に消防事務組合の定例議会が開かれました。
審議された内容をお知らせします。

根室北部廃棄物処理広域連合議会

補正予算(一回目)と平成二十年度の当初予算(五億六千万円余)について審議し、全員の賛成で可決しました。

また、中村忠士議員(別海町)の一般質問(①運営費の見通しについて②情報開示、住民理解の推進について)が行われました。

中標津町外二町葬斎組合議会

補正予算(二回目)と平成二十年度の当初予算(六千二百万円余)について審議し、全員の賛成で可決しました。

根室北部消防事務組合議会

補正予算(四回目)と平成二十年度の当初予算(十五億四千万円)ならびに、職員定数条例の一部改正について審議し、全員の賛成で可決しました。

■ 消防事務組合職員定数

	改定前	改定後
議会事務局の職員(兼任)	2名	2名
監査委員の職員(兼任)	2名	2名
消防本部の職員	7名	7名
消防署の職員	133名	136名

■ 平成20年度の当初予算総額

	金額
廃棄物処理広域連合	5億6,208万6千円
葬 斎 組 合	6,260万5千円
消 防 事 務 組 合	15億 120万円

春の大荒れ(暴風雪)で被害

それまでの穏やかな天候が一変。4月1日は思わぬ暴風雪が吹き荒れました。町がまとめた被害状況は次のとおりです。(4/10現在)

猛吹雪で道がふさがれ牛乳の出荷ができない事態となった



被害の種類		件数	内 容
人的被害		0件	
住家被害		5件	海岸地域4件・その他1件
農業被害	営農施設	70件	牛舎、堆肥舎・D型ハウスの破損など 別海34・中春別31・西春別4・上春別1
	畜産被害	36件	牛死亡2件・生乳廃棄34件約23トﾝ (中春別24・別海10)
水産被害	漁船沈没	1件	
	漁船破損	1件	
社会教育施設被害		1件	奥行臼駅詰所物置のガラス破損
合 計		114件	被害金額は約900万円

※人的な被害が今のところ報告されていないのでほっとしていますが、被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。



体育館に全員集合した別海小学校の先生と子どもたち

別海小学校

別海小学校では、第三学年から第六学年までの「総合的な学習の時間」に自分たちの身近な地域にすばらしい自然環境が存在することを実感し、地域のよさを全身で感じる体験的な教育活動を通して、郷土を愛し地域と

ともに生きる心の育成をねらいとして、「西別川探検（三年生）」、「風蓮湖めぐり（四～六年）」に取り組んでいます。

内容として、三年生は「鮭の稚魚の放流」「西別川の自然観察（鳥・草花・木・川の様子）」、四年生は「風蓮湖の自然観察（鳥・草花・木・湖の様子）」、五年生は「風蓮湖の漁業体験学習」、六年生は五年生までに学んだことを生かし、「風蓮湖とそこで生活する人や環境との関わり」について学習しています。

四年間の一連の活動を通して、子どもたちが地域の自然のすばらしさを体感し、そこで漁業を営む父母の苦労や願いに直接触れることで、自分たちの地域を守ろうとする意識や態度が高まればと願っています。

編集後記



「周知不足、ネーミングが良くない、本当にまずかったと反省している」「後期高齢者医療被保険者証」を既に配布しておきながらの福田首相の弁。

七十五歳以上の人たちが、どれだけ戦後日本の復興に力を注いであられたか。

また、我が町を第一次産業の生産高日本一の町にしてくれた功績は多大である。

政府は、新医療制度発足の当日になって「長寿医療制度」という通称を持ち出した。あまりにも遅すぎるし、かえって空々しい。

当町では後期高齢者医療制度の対象者が千七百九十人おり、既に年金からの天引きが始まっている・・・。

（安部委員）

美原保育園の卒園式に出席した。今年度は五人の卒園児、みなそれぞれ期待と緊張の面持ちであったが式の間中きちんと座り、見ていてかわいらしい。そして、式の最後に園児全員で「はじめの一步」を合唱した。歌詞には、「はじめの一步 明日に一步 勇気を持って大きく 一歩あるき出せ」とある。改めて初心を大事にしたいと思った。また、これから新天地で頑張る人に贈りたい。

斉藤茂太さんの本に賢い子育ての公式が提唱されていた。「三つのゆ」というものだ。①ユーモア②ゆとり③勇気の三つ。今まで子育ての中で念頭においていた言葉である。

そこに昨年「四つ目のゆ」が加わった。「夢大きく 心やさしく 町いきいき」と別海町のまちづくりのテーマである。

（西原委員）

携帯電話は車を止めて！安全はスピードダウンと車間距離